

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

一般 地獄と極楽(西川隆範) シーボルトのかんざし(不破俊輔) 葉っぱ・花樹皮でわかる樹木図鑑(池田書店編) 葉で見分ける樹木(林将之) 大判図解最新果樹の剪定(農文協) かつこの親、もずの子ども(椰月美智子) 日本、買います(平野秀樹) おかあさんの味のおかず(主婦の友社) 野菜の保存使いきりレシピ(主婦の友社) 災害救助犬ものがたり(スザンナ・チャールソンメ) 洛中洛外(安野光雅) 天命の扉(遠藤武)

文) 八重の桜1、2、3、4(山本むつみ) ナモナキラクエン(小路幸也) この君なくば(葉室麟) 月の輪草子(瀬戸内寂聴) ことり(小川洋子) 君想曲(新堂冬樹) 児童書 キヤベたまたんてい ゆうれいかいぞくの地図(三田村信行/宮本えつよし) かいけつゾロリつかまる!!(原ゆたか) かいけつゾロリなぞのスパイとチョコレート(原ゆたか) ふゆってどこなところ(工藤のりこ) おやすみなさいのおともだち(ケイト・バンクス) 新世界へ(あべ弘士) いいものみつけた(レオニード・ゴア) 「さがしています」(アーサー・



今月の1冊

「ちいさな
オキクルミ」

松谷みよ子/
西山三郎

アイヌの民話の地上と人間の平和を守る神のお話です。アイヌラックル、オйнаカムイ、オキクルミなどの呼び名を持つ地上で誕生した初めての神です。最後に19歳で没した知里幸恵の「アイヌ神謡集」の美しい詩が一編のっています。大人の方も読んでね!!



ピナード/岡倉禎志) 「津波!! 命を救った稲村の火」(小泉八雲/高村忠範) 絵本地獄 千葉県安房郡三芳村延命寺所蔵白仁成昭/宮次男) 絵本極楽(西川隆範/榎田英伸) 「へんしんおんせん」(あおやまただし) かあさんのこもりうた(こんのひとみ/いもとようこ) くまじいちゃん(クリスマス) やすいすこ/いもとようこ) いちばんはじめのおくりもの(なかむらきよこ/いもとようこ) よろこびのひ(ピーター・ミルワード/いもとようこ) ちびくろさんぼ2(ヘレン・バンナーマン/岡部冬彦訳) ちびくろさんぼ3(ヘレン・バンナーマン/こじまよしみ訳) 猫のたま駅長(西松宏)

ピノキオ読み聞かせ会

■日 時 4月19日 14時30分

■場 所 あぶた読書の家

●開館時間

午前10時より午後4時20分

●3月休館日

14日・20日・21日・28日(4月4日)

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎ 76・2100

みずつみ読書の家 ☎ 75・4702

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】二月定例会より

「春だよ」と告ぐるがごとくさわさわと

雪どけ水は音に流るる

山 木 孝

老ひとり世の片隅に憩いつつ

雪にけぶらふ月明り恋ふ

大 西 芳 子

吹雪去り入り来る日差しにぬくもりて

居眠りさそふ昼のひと刻

北 島 加 代

親友からの椿さいたと絵手紙で

春送りきし雪ふる中を

元 田 フジ子

窓を射す日差しもようやくやわらかに

突如おもたき春の雪ふる

太 田 智

俳句

【あぶた俳句会】二月定例会より

誰が植ゑし水仙を継ぎ住み古りぬ

菅 原 敏 子

寒禽のいこふ百態見て憩ふ
冬鳥のこと

矢 野 知 子

工事に負けじと一人豆を撒く

那 須 伶 子

パンか醸す微かな音や冬籠

井 村 育 子

皇后の水仙心紡ぎけり

三 瓶 修

美しく老いも若きも息白き

小笠原 勇